

発言No.

10

受付No.

1

令和7年2月7日

16時43分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 10 番

氏名 串崎 利行

答弁を求める者

(○をつける)

☐市長 ☐教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

☐農業委員会会長 ☐固定資産評価審査委員会委員長 ☐公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 農業の振興について

(1) 農機オペレーター不足について

- ① 農機を扱える人が高齢化などで足りず、集落営農組織のオペレーター不足が深刻化している。農地を集約して規模拡大が進めば、農機を扱うオペレーターの確保は不可欠となるが、市の考えを伺う。

(2) 農業のサービス事業体について

- ① 国は農作業の代行などをする「サービス事業体」を育てることに力を入れ、人手不足の解消や手間のかかる作業を任せると聞く。先端技術を使ったスマート農業機械の活用も進んでいるが、小規模農家が所有するのは現実的ではないとされている。小規模農家を経営していくには、サービス事業体が必要とを感じるが、市の考えを伺う。

(3) 第三者承継について

- ① 農業の第三者承継を支援する取り組みが広がっている。離農者の経営資源を、家族以外の新規参入者が引き継ぐことは、担い手不足が深刻化する中、地域農業を持続させる有効な手段である。行政、JA、農家組織など関係機関は連携支援を強化するべきとを感じるが、市の考えを伺う。

(4) 電動草刈機の普及について

- ① みどりの食料システム戦略では、化石燃料の使用量削減に向け、2030年までに、刈払機を含む電動草刈機の普及率50%を目標に掲げている。温室効果ガスの発生を減らすために、電動化の波も押し寄せていると感じるが、市の考えを伺う。

2 いじめ対応について

- ① いじめの認知件数が過去最多となる中、警察 OB や保護司など、複数による専門家チームを教育委員会に設置し、学校と連携して個別のいじめ事案や、加害児童生徒への対処に当たる新たな取り組みを始めると聞く。市はどのような対応をするのか考えを伺う。
- ② 浜田市のいじめの認知件数、過去 5 年間の推移を伺う。

3 小中学校でのファクス利用や押印について

- ① 小中学校での業務効率化を図るために、2025 年度中にファクス利用や押印を原則廃止する方針である。前回の調査からファクス利用は少し減ったものの、依然高い水準と聞く。市の学校のファクス利用や押印の取り扱い状況を伺う。
- ② 学校のファクス利用や押印の取り扱いについて、今後の対応はどのようなになるのか、市の考えを伺う。

4 保育園留学について

- ① 先般弥栄の「や会議」において、地域ブランディングと仕組みをテーマに研修会が行われ、その中で保育園留学の講演があった。子どもが保育園に通いながら家族で地域に 1~2 週間滞在できる暮らし体験である。人口減少が進む中、関係人口を増やし、移住を進めるための一つの対策とを感じるが、市の考えを伺う。

5 プラごみの削減について

- ① プラ廃棄量は 20 年前と比べて倍増だと聞く。廃棄されたプラごみが海洋汚染の他、焼却時に出る二酸化炭素の増加による地球温暖化など、さまざまな環境問題を引き起こすことは各種調査から明らかになっている。浜田市は、きれいな海を宣伝するためにも、プラごみの削減に特に力を入れるべきと感じるが、市の考えを伺う。